



イエスさまのきょうだい、しまい、おかあさんであること

だれでも、わたしのてんのちちのみこころをおこなうひとが、わたしのきょうだい、しまい、またははである。(マタイ 12・50)



イエスさまのおかあさんと、しんせきはイエスさまとはなしがしたいのですががしていません。



でしたちはイエスさまにいきました。「いえのそとであなたのおかあさんときょうだいたちがまっています」。



イエスは「だれでも、わたしのてんのちちのみこころをおこなうひとが、わたしのきょうだい、しまい、またははである。」といいました。



パオラとノエミはおひめさまごっこをはじめました。パオラは「わたしがおひめさまになる!」といいました。



ノエミもおひめさまがよかったのですが、パオラをあいするたにおうじさまになりました。



とてもたのしくあそび、バイバイするときパオラはノエミのあいのおこないに「ありがとう」といいました。

イタリアのノエミのけいけん